

八千代市上下水道事業経営戦略

前期実施計画

平成30年度取組状況

令和元年9月

八千代市上下水道局

目 次

第1章 水道事業編

第1 業務量・財政収支

- 1 業務量の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 財政収支の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

第2 前期実施計画 取組概要

- 1 取組項目の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

第3 前期実施計画 個別取組み状況

取組み状況の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

- 1 基本方針1 水道事業の運営基盤の向上
 - ①水道施設の計画的・効率的な管理・・・・・・・・・・5
 - ②浄・給水場の統廃合の検討・・・・・・・・・・7
 - ③定員管理の適正化・・・・・・・・・・7
 - ④民間資金・ノウハウの活用 of 検討・・・・・・・・・・8
 - ⑤広域化の検討・・・・・・・・・・9
 - ⑥適正な資金管理・・・・・・・・・・9
 - ⑦水道料金の見直し・・・・・・・・・・11
 - ⑧手数料の見直し・・・・・・・・・・12
- 2 基本方針2 安心・快適な給水の確保
 - ①水質管理体制の充実・・・・・・・・・・12
 - ②鉛製給水管の更新・・・・・・・・・・13
 - ③貯水槽の衛生管理指導・・・・・・・・・・14
- 3 基本方針3 災害対策の強化
 - ①浄・給水場の耐震化・老朽化対策・・・・・・・・・・15
 - ②水道管路の耐震化・老朽化対策・・・・・・・・・・16
 - ③漏水対策の推進・・・・・・・・・・17
 - ④応急給水用資機材の整備・・・・・・・・・・17
 - ⑤復旧体制の強化・・・・・・・・・・18
 - ⑥井戸水の確保・・・・・・・・・・20

第2章 公共下水道事業編

第1 業務量・財政収支

- 1 業務量の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
- 2 財政収支の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

第2 前期実施計画 取組概要

- 1 取組項目の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

第3 前期実施計画 個別取組み状況

- 1 基本方針1 公共下水道事業の運営基盤の向上
 - ①下水道施設の計画的・効率的な管理・・・・・・・・・・25
 - ②定員管理の適正化・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
 - ③民間資金・ノウハウの活用 of 検討・・・・・・・・・・26
 - ④広域化の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
 - ⑤適正な資金管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
 - ⑥下水道使用料の検証・検討・・・・・・・・・・・・・・・・28
 - ⑦災害復旧体制の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
- 2 基本方針2 汚水の適正な処理
 - ①汚水施設の整備拡充・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
 - ②汚水施設の維持管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
 - ③水質規制の指導・監督・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
 - ④未接続の解消・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
- 3 基本方針3 浸水対策の強化
 - ①雨水施設の整備拡充・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
 - ②雨水施設の維持管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
 - ③雨水流出抑制策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

第 1 章
水道事業編

第1 業務量・財政収支

1 業務量の計画と実績

	計 画	実 績	増 減
行政区域人口(A)	198,552 人	198,965 人	413 人
給水人口(B)	196,885 人	197,189 人	304 人
普及率(B/A)	99.2%	99.1%	△0.1%
年間総給水量(C)	18,674,179 m ³	18,937,342 m ³	263,163 m ³
年間総有収水量(D)	18,188,650 m ³	18,394,816 m ³	206,166 m ³
有収率(D/C)	97.4%	97.1%	△0.3%

2 財政収支の計画と実績

①収益的収支

(単位:千円 消費税抜)

	計 画	実 績	増 減
収入(A)	3,779,221	3,896,796	117,575
うち水道料金	2,917,789	2,969,150	51,361
支出(B)	3,511,282	3,477,410	△33,872
純利益(A-B)	267,939	419,386	151,447

②資本的収支

(単位:千円 消費税込)

	計 画	実 績	増 減
収入(A)	1,439,942	1,465,704	25,762
うち企業債	1,200,000	1,000,000	△200,000
支出(B)	3,468,791	2,662,111	△806,680
うち建設改良費	2,830,770	2,024,091	△806,679
資本的収支不足額(A-B)※	△2,028,849	△1,197,857	

※実績の値は、資本的収入(A)から、翌年度へ繰越される支出の財源充当額1,450千円を控除しています。

③企業債残高

(単位:千円)

	計 画	実 績	増 減
年度末企業債残高	14,097,961	13,637,962	△459,999

④資金残高

(単位:千円)

	計 画	実 績	増 減
年度末保有資金残高	1,220,127	2,471,951	1,251,824

※経営戦略前期実施計画 平成30年度版の計画との比較となります。

第2 前期実施計画 取組概要

1 取組項目の実施状況

平成30年度は、当該年度の取組項目に掲げていた全29項目のうち、26項目を計画どおり実施し、3項目を計画どおりではありませんが実施しました。

また、平成30年度の取組み計画としていなかった1項目について、実施しました。

(1) 取組項目一覧表

◆基本方針1 水道事業の運営基盤の向上

取組・施策名, 取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①水道施設の計画的・効率的な管理			
長期的な更新需要	—	A	5
浄・給水場の設備管理台帳の整備・更新	—	A	5
施設の点検・診断マニュアルに基づく点検の実施	—	A	6
管路の計画的な更新	—	※	6
②浄・給水場の統廃合の検討			
統廃合の検討・実施	—	A	7
③定員管理の適正化			
定員管理の適正化	—	A	7
④民間資金・ノウハウの活用の検討			
先進事例の調査・研究	—	A	8
水道施設管理業務委託における業務内容の検討	—	A	8
⑤広域化の検討			
国・県の方針や先進事例の調査・研究	—	A	9
⑥適正な資金管理			
企業債の借入の抑制	有	A	9
期中における資金管理の徹底	—	A	10
⑦水道料金の見直し			
水需要・料金収入・財務状況の確認・分析	—	A	11
用途区分「行政財産用」の廃止 ※平成29年度に完了			
一般用料金の見直し	—	A	11
⑧手数料の見直し			
設計審査・しゅん工検査手数料の見直し	—	—	12

注)実施状況について

A : 計画どおり実施した B : 計画どおりではないが実施した C : 実施できなかったもの

— : 平成30年度における取組みがないもの ※ : 平成30年度における取組みはないが、実施したものの

◆基本方針2 安心・快適な給水の確保

取組・施策名, 取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①水質管理体制の充実			
水質検査計画に基づく水質検査	—	A	12
水安全計画の運用	—	A	13
②鉛製給水管の更新			
取替え工事	有	B	13
③貯水槽の衛生管理指導			
パンフレット作成・配布	—	A	14
啓発・指導	有	A	14

◆基本方針3 災害対策の強化

取組・施策名, 取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①浄・給水場の耐震化・老朽化対策			
村上給水場改良工事	—	A	15
②水道管路の耐震化・老朽化対策			
石綿セメント管の入れ替え	有	B	16
非耐震管の入れ替え	—	A	16
③漏水対策の推進			
漏水調査の実施	有	A	17
④応急給水用資機材の整備			
給水タンクの整備	有	A	17
非常用給水袋の保管・補充	有	A	18
給水タンク車の整備	有	A	18
⑤復旧体制の強化			
災害時を想定とした訓練の実施	—	A	18
関係機関・事業者との連携強化	—	A	19
災害マニュアルの見直し・修正	—	A	19
不断水弁の設置	—	B	20
⑥井戸水の確保			
井戸施設の点検・管理	—	A	20

第3 前期実施計画 個別取組み状況

取組み状況の見方

年度別実施計画

前期実施計画（平成30年度版）に記載している平成28年度からの実施計画を記載しています。

なお、「平成31年度」は「令和元年度」に、「平成32年度」は「令和2年度」に表記を変更しています。

※平成は「H」、令和は「R」で元号を表記しています。

実施状況

計画どおり実施したものは「A」

計画どおりではないが実施したものは「B」

実施できなかったものは「C」

平成30年度における取組みがないものは「-」

平成30年度における取組みはないが、実施したものは「※」を表示しています。

(例)

取組項目	取替え工事				
取組目的内容	安全な水道水の供給と漏水防止のため、既設鉛製給水管からポリエチレン管への取替え工事を行います。また、配水管の耐震化工事と合わせた施工を行い、平成30年度までに完了させます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	実施	実施	実施(完了)		
実施状況	A	A	B		
H30年度実施内容	鉛製給水管について、87個の取替え工事を行いました。引き続き、令和元年度の完了を目標に取替え工事を行います。				
H30年度目標設定	取替え個数	目標値		実績値	
		115個		87個	
B評価の理由	関係者との協議や施工に伴う調整等に時間を要した箇所があり、年度内の完了となりませんでした。 このため、実施状況の評価をBとしました。				

目標設定

前期実施計画において数値目標を設定しているものについては、「設定目標」、「目標値」、「実績値」を記載しています。

B及びC評価の理由

実施状況がA評価とならなかった取組みについて、理由を記載しています。

1 基本方針 1 水道事業の運営基盤の向上

①水道施設の計画的・効率的な管理

取組項目	長期的な更新需要				
取組目的・内容	平成 23 年度に策定した「八千代市水道事業第 2 次長期基本計画」を見直し、浄・給水場の統廃合を含めた更新計画として「八千代市水道施設再構築基本計画」を平成 30 年度に策定します。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	「八千代市水道事業第 2 次長期基本計画」の見直し	長期的な更新計画・財政収支見通しの作成	八千代市水道施設再構築基本計画の策定	計画の推進	計画の推進
実施状況	A	B	A		
H30 年度実施内容	上下水道事業運営審議会での審議及びパブリックコメントを実施し、審議会及び市民の意見を取り入れながら、水源の確保や災害時のバックアップ体制の強化を図るとともに、現在の 7 浄・給水場から 3 浄水場への統廃合を行うことを本市の水道施設の将来的な理想像とする「八千代市水道施設再構築基本計画」を平成 30 年 12 月に策定しました。				
H30 年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	浄・給水場の施設管理台帳の整備・更新				
取組目的・内容	機械設備の管理台帳システムを整備し、更新やデータの管理を行い、資産管理水準の向上を図ります。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	施設管理台帳システム整備	台帳システムの更新・データ管理	台帳システムの更新・データ管理	台帳システムの更新・データ管理	台帳システムの更新・データ管理
実施状況	A	A	A		
H30 年度実施内容	浄・給水場の運転管理等委託の受託業者において、設備管理台帳システムに入力するデータの収集を行い、台帳内容の充実を図りました。				
H30 年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	施設の点検・診断マニュアルに基づく点検の実施				
取組目的・内容	「施設の点検・診断マニュアル」に基づく点検を実施し、老朽化などの状況を確認します。				
年度別 実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	点検の実施	点検の実施	点検の実施	点検の実施	点検の実施
実施状況	A	A	A		
H30年度 実施内容	「施設の点検・診断マニュアル」に基づき各施設の点検を行いました。				
H30年度 目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	管路の計画的な更新				
取組目的・内容	管路の現況調査に基づき、管路の実耐用年数を設定し、今後の更新需要の精査を行います。平成31年度から行う管路の耐震化工事については、優先順位を設定したうえで、事業費を平準化し、計画的に進めていきます。				
年度別 実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	管路の現況調査による実耐用年数の設定			計画的な耐震化工事の実施	計画的な耐震化工事の実施
実施状況	A	※	※		
H30年度 実施内容	平成28年度に実施した管路の現況調査による実耐用年数の設定等を踏まえ、重要給水管路の優先的な耐震化、事業費の平準化等を考慮した「八千代市水道管路施設耐震化計画」を平成30年12月に策定しました。 ※平成30年度の実施計画はありませんでしたが、本計画に関わる業務を上記のとおり実施しました。				
H30年度 目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

②浄・給水場の統廃合の検討

取組項目	統廃合の検討・実施				
取組目的・内容	施設の更新需要が増加していく中、浄・給水場施設の更新に係る投資の合理化を目的として、施設のダウンサイジングを進めるために、7つある浄・給水場の統廃合について検討を進めます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	水道施設再構築基本構想の策定	構想に基づく更新計画の見直し	八千代市水道施設再構築基本計画の策定	統廃合の推進	統廃合の推進
実施状況	A	B	A		
H30年度実施内容	現在の7浄・給水場から3浄水場への統廃合を行うことを本市の水道施設の将来的な理想像とする「八千代市水道施設再構築基本計画」を平成30年12月に策定しました。また、統廃合を考慮した村上給水場改良工事実施設計を行いました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

③定員管理の適正化

取組項目	定員管理の適正化				
取組目的・内容	平成18年度に行った上下水道事業部門の組織統合以降、事務の効率化などにより、人員の削減を実施してきましたが、今後においても市全体の定員管理計画に基づき、事務事業の見直し、民間委託の拡大や再任用職員の活用などによる定員管理の適正化を進めます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	推進	推進	推進	推進	推進
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	再任用職員及び臨時的任用職員の活用をしながら、職員の適正配置を行いました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

④民間資金・ノウハウの活用の検討

取組項目	先進事例の調査・研究				
取組目的・内容	民間委託などの手法の活用が可能である事務事業については、導入を検討し、事務の効率化や事業費の縮減を図り、安定的なサービスを継続します。これまで様々な業務における民間委託の拡大を行ってきましたが、今後も委託業務の拡大を進めるとともに、民間の資金・ノウハウの活用について、先進事例などの調査・研究を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	包括的民間委託を導入した事業体の先進事例など、官民連携導入事例の情報収集を行いました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	水道施設管理業務委託における業務内容の検討				
取組目的・内容	浄水場の施設管理業務委託において、令和3年度からの委託業務内容の拡大について検討します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	調査・検討	調査・検討	・業務内容の確定 ・仕様書の作成	・仕様書の作成 ・契約方法の確定	委託契約
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	令和2年度の委託契約の更新に向け、より安定給水の向上を図れるよう、点検業務や小規模修繕業務を拡大する方向で、業務要求水準書の作成を進めました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

⑤広域化の検討

取組項目	国・県の方針や先進事例の調査・研究				
取組目的・内容	本市が受水している用水供給事業者である北千葉広域水道企業団や近隣水道事業者との事業統合による広域化については、具体的な検討に至っておりませんが、長期的な視点から他事業者が進める事業統合・経営統合・施設統合などの事例を注視し、調査・研究を行います。				
年度別 実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A	A	A		
H30年度 実施内容	県内水道の統合・広域化のリーディングケースとして進められている九十九里・南房総地域の用水供給事業者と県営水道の統合や、千葉県・木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市・君津広域水道企業団の統合が行われ、平成31年1月に「かずさ水道広域連合企業団」が新たに設置されたことについて情報収集を行いました。				
H30年度 目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

⑥適正な資金管理

取組項目	企業債の借入の抑制				
取組目的・内容	年々増加する企業債残高を圧縮するために、適正な内部留保資金残高を確保したうえで、企業債の借入れを抑制する必要があります。前期計画期間は、石綿セメント管の更新や村上給水場の改良工事などへの多額の事業費が見込まれることから、企業債の充当率を一定の範囲にとどめることを目標とします。				
年度別 実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	充当率の上限設定	充当率の上限設定	充当率の上限設定	充当率の上限設定	充当率の上限設定
実施状況	A	A	A		
H30年度 実施内容	平成30年度における企業債の充当率を44.7%（借入額10億円）とし、借入れの抑制に努めました。				
H30年度 目標設定	企業債充当率（上限）		目標値	実績値	
	—		50%	44.7%	

取組項目	期中における資金管理の徹底				
取組目的・内容	<p>期中の資金管理については、上下水道局内の情報共有などにより、事業の執行状況を把握することで、資金管理を徹底し、定期預貯金の預入などによる利息の獲得と企業債の借入日の調整をすることによる支払利息の低減を図ります。</p>				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	<p>定期預金については、事業担当課との情報共有により資金の動きを詳細に分析し、資金の必要性を精査した上で、可能な限り剰余金を集中した長期の預入れを行いました。預入先の選定は、各金融機関から利率の見積を徴収し、経営の安全性が確認された中で最も高い利率を提示した金融機関としました。</p> <p>企業債の借入れに際しては、支払利息の縮減を図るため金利方式について検討を行い、その結果、金利変動リスクのない固定金利方式を選択しました。</p>				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑦水道料金の見直し

取組項目	水需要・料金収入・財務状況の確認・分析				
取組目的・内容	水道料金の収入状況や財務状況の確認・分析により、料金見直し(改定)の時期や改定内容について検討を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	<p>メータ検針等に基づく調定水量及び水道料金について、業態別の分析を行うとともに、前年度の決算状況等により財務状況の確認を行いました。</p> <p>令和元年度から令和5年度までの財政収支の見通しにおいて、令和5年度に約8,800万円の赤字となり、また、保有資金残高についても約4億7,000万円まで減少することが見込まれたことから、水道料金の改定により経営の健全化を図るため、令和元年10月1日から平均改定率8.57%の値上げを実施することとしました。</p> <p>なお、料金体系については、バランスのとれた口径別基本料金の設定、県内上位の低料金水準の維持、企業などの多量使用者に頼った料金体系の改善に重点を置いた見直しを行いました。</p>				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	一般用料金の見直し				
取組目的・内容	今後の施設の耐震化・老朽化対策への事業費の増加に対応するため、投資の合理化・効率化や経費の節減などを進めていきますが、それでもなお投資・財政計画において資金不足が生じることが避けられないため、水道事業の根幹をなす水道料金の見直しを実施する必要があります。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	<ul style="list-style-type: none"> 財務状況等の分析 料金体系の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 財務状況の分析 料金体系の検討 審議会での審議 	<ul style="list-style-type: none"> 財務状況の分析 料金体系の検討 審議会での審議 議会への上程 	料金の見直しの実施	見直し後の検証
実施状況	A	C	A		
H30年度実施内容	<p>令和元年度から令和5年度までの5年間の財政収支見通しを基に料金体系の見直しを行いました。</p> <p>料金改定案について上下水道事業運営審議会に諮問し、答申をいただいた後、八千代市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について、平成31年八千代市市議会第1回定例会へ上程し、可決され、令和元年10月1日に平均改定率8.57%の値上げを実施することとしました。</p>				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑧手数料の見直し

取組項目	設計審査・しゅん工検査手数料の見直し				
取組目的・内容	利用者の負担の適正化と収入の確保を目的として、給水装置工事に係る設計審査・しゅん工検査手数料を見直し、定期的に事務コストの検証を行い、必要に応じて手数料の見直しの検討を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・審議会への諮問 ・議会への上程	手数料の改定		事務コストの検証	
実施状況	A	A	—		
H30年度実施内容	平成30年度実施計画なし				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

2 基本方針2 安心・快適な給水の確保

①水質管理体制の充実

取組項目	水質検査計画に基づく水質検査				
取組目的・内容	水道法20条で定められている定期水質検査を行い、必要があれば臨時の水質検査も行います。検査地点は水源、浄水場着水井、浄・給水場の出口及び水道法に基づく検査地点である末端給水栓とし、検査結果を公表することにより水質検査の透明性を確保します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	実施・公表	実施・公表	実施・公表	実施・公表	実施・公表
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	平成29年度末に策定・公表した水質検査計画に沿って、法令等で義務付けられた定期検査を実施することにより、水の安全性及び清浄な水の供給を確認し、水道需要者へ検査結果の情報提供を行いました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	水安全計画の運用				
取組目的・内容	平成 25 年度に策定した「八千代市水道事業水安全計画」を運用し、毎年度評価を実施し、水源から蛇口までにおけるリスクの管理を進め、安全な水道水を供給します。				
年度別 実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	評価・見直し	評価・見直し	評価・見直し	評価・見直し	評価・見直し
実施状況	A	A	A		
H30 年度 実施内容	<p>前年度に開催したレビュー（評価）の結果を反映させるため、平成 30 年 4 月に水安全計画の見直しを行いました。</p> <p>また、上下水道局職員から成る水安全計画推進委員を推進役とし、計画に沿って実行した内容について、年度末にレビューを開催し、実施状況の検証や情報共有を行いました。</p>				
H30 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

②鉛製給水管の更新

取組項目	取替え工事				
取組目的・内容	安全な水道水の供給と漏水防止のため、既設鉛製給水管からポリエチレン管への取替え工事を行います。また、配水管の耐震化工事と合わせた施工を行い、平成 30 年度までに完了します。				
年度別 実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	実施	実施	実施（完了）		
実施状況	A	A	B		
H30 年度 実施内容	鉛製給水管について、87 個の取替え工事を行いました。引き続き、令和元年度の完了を目標に取替え工事を行います。				
H30 年度 目標設定	取替え個数		目標値	実績値	
			115 個	87 個	
B 評価の 理由	<p>関係者との協議や施工に伴う調整等に時間を要した箇所があり、年度内の完了となりませんでした。</p> <p>このため、実施状況の評価を B としました。</p>				

③貯水槽の衛生管理指導

取組項目	パンフレット作成・配布				
取組目的・内容	小規模貯水槽（10 m ³ 未満）を設置している建物の管理者に対し、適正な維持管理を促すため、啓発・指導用のパンフレットを作成・配布します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	内容検討	作成 (500部)	配布	配布	配布
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	小規模貯水槽の設置者・管理者に対し、パンフレットの配布を行いました。また、上下水道局窓口にパンフレットを置くとともに、ホームページにも掲載し、市民や工事事業者に閲覧していただけるようにしました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	啓発・指導				
取組目的・内容	清浄な飲料水の確保を図るため、小規模貯水槽（10 m ³ 未満）を設置している建物の管理者に対し、適正管理について啓発・指導を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	実施（ホームページ・広報誌等による啓発）	実施	実施	実施	実施
実施状況	A	B	A		
H30年度実施内容	作成したパンフレットを活用し、小規模貯水槽の設置者・管理者に対し、現地立会いのもと、適正な管理を行っていただけるよう指導を行いました。				
H30年度目標設定	訪問件数		目標値	実績値	
			50件	54件	

3 基本方針3 災害対策の強化

① 浄・給水場の耐震化・老朽化対策

取組項目	村上給水場改良工事				
取組目的・内容	市内7か所の浄・給水場については、昭和40年代から50年代に整備されたものが多く、経年による老朽化が進み、現在、大規模な改良工事を順次行っています。改良工事とともに、施設の耐震化を進めることにより、災害に強い施設をめざします。老朽化が著しい村上給水場について、配水池の耐震化や電気設備の更新を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
		実施設計	実施設計	改良工事 ・配水池の耐震化 ・電気設備の更新	改良工事 ・配水池の耐震化 ・電気設備の更新
実施状況	—	B	A		
H30年度実施内容	令和元年度の改良工事の発注に向け実施設計業務を行い、設計書を作成しました。なお、村上給水場は、将来、米本浄水場及び勝田台浄水場との統合を予定しているため、統合を考慮した設計書を作成しました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

②水道管路の耐震化・老朽化対策

取組項目	石綿セメント管の入れ替え				
取組目的・内容	耐震化されていない水道管を地震に強い耐震型ダクタイプル铸铁管（GX型）へ入れ替えることにより、地震などの災害時において、安定的な給水を維持することができます。石綿セメント管から耐震管へ入れ替える工事は平成30年度までに完了します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	更新工事	更新工事	更新工事 (完了)		
実施状況	A	A	B		
H30年度実施内容	10,718.7mの石綿セメント管を耐震型ダクタイプル铸铁管に入れ替える工事を行いました。				
H30年度目標設定	更新率		目標値	実績値	
			100.0%	99.0%	
	水道管路の耐震化率		58.7%	58.1%	
B評価の理由	<p>関係機関との調整に時間を要したこと等により、令和元年度に5件の石綿セメント管入れ替え工事を繰越しました。なお、これが完了することにより、石綿セメント管の入れ替えは完了となります。また、令和元年度に繰越した工事があること及び布設ルートの見直しにより改良延長が減少したことにより、耐震化率は目標値を下回りました。</p> <p>このため、実施状況の評価をBとしました。</p>				

取組項目	非耐震管の入れ替え				
取組目的・内容	平成30年度までに石綿セメント管の更新を完了し、令和元年度からは、石綿セメント管以外の非耐震管を耐震管へ入れ替える工事を行っていきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	—	—	実施設計	更新工事	更新工事
実施状況	※	※	A		
H30年度実施内容	重要給水管路の優先的な耐震化、事業費の平準化等を考慮した「八千代市水道管路施設耐震化計画」を平成30年12月に策定し、これに基づき、配水管布設替え工事の実施設計を行いました。				
H30年度目標設定	※本取組みにおいて、「水道管路の耐震化率」の目標設定をしていましたが、平成30年度の実施計画に掲げる「実施設計」は、石綿セメント管以外の非耐震管の取り替え工事に係る実施設計であり、また、令和元年度以降の計画に掲げている「更新工事」も同様に、今後、実施していく石綿セメント管以外の更新工事であるため、今回、「水道管路の耐震化率」の目標設定は、上記の取組項目「石綿セメント管の入れ替え」において評価しています。				

③漏水対策の推進

取組項目	漏水調査の実施				
取組目的・内容	計画的に漏水調査を行い、早期に修繕することで無効水量（漏水などにより損失した水量）の軽減を図ります。また、早期に発見し修繕することにより、道路陥没などの2次災害を防止します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	調査の実施	調査の実施	調査の実施	調査の実施	調査の実施
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	計画に沿った調査地区7,372件の漏水調査を実施し、4件の漏水を発見し、漏水箇所の修繕を行いました。				
H30年度目標設定	調査区域	目標値		実績値	
		下市場・勝田台・勝田・勝田台北・勝田台南地区		下市場・勝田台・勝田・勝田台北・勝田台南地区	
	調査予定件数	7,500件		7,372件	

④応急給水用資機材の整備

取組項目	給水タンクの整備				
取組目的・内容	災害時の応急給水活動に備えるために、平成29年度までに給水タンク(2 ^m)を24基、組立式給水タンク(1 ^m)を8基整備しました。平成30年度以降においても、必要に応じて整備していきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	購入	購入	保有	保有	保有
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	給水タンク(2 ^m)を17基、(1 ^m)を6基保有し、また、組立式給水タンク(1 ^m)を8基保有しました。				
H30年度目標設定	給水タンクの保有数	目標値		実績値	
		・給水タンク(2 ^m)24基 ・組立式給水タンク(1 ^m)8基		・給水タンク(2 ^m)17基 (1 ^m)6基 ・組立式給水タンク(1 ^m)8基	

※「取組目的・内容」の見直し時及び目標設定時に、給水タンク(2^m)24基に給水タンク車を1基分として含めていましたが、給水タンク車を含めないこととしました。また、給水タンクの容量と保有数に誤りがあり、給水タンク(2^m)の内数に(1^m)6基が含まれていました。

このため、平成30年度に給水タンクの購入や買い替えは行いませんでしたが、目標値と実績値の数値が異なっております。

また、「取組目的・取組内容」に記載のある「給水タンク(2^m)を24基」は、「給水タンク(2^m)を17基、(1^m)を6基」が正しいものとなります。

取組項目	非常用給水袋の保管・補充				
取組目的・内容	非常用給水袋（60）を備蓄し、現状で保管している水準の15,000枚以上を常に確保します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	備蓄・補充	備蓄・補充	備蓄・補充	備蓄・補充	備蓄・補充
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	60用の給水袋を15,000枚備蓄しています。（平成30年度は買い替え無し）				
H30年度目標設定	給水袋保管数	目標値		実績値	
		15,000枚		15,000枚	

取組項目	給水タンク車の整備 ※前期実施計画（平成30年度版）で追加				
取組目的・内容	給水タンク車について、平成29年度末時点で1台保有していますが、令和元年度に1台購入し、計2台を保有します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
			保有	購入	保有
実施状況			A		
H30年度実施内容	給水タンク車1台を保有しています。				
H30年度目標設定	給水タンク車の保有数	目標値		実績値	
		1台		1台	

⑤復旧体制の強化

取組項目	災害時を想定とした訓練の実施				
取組目的・内容	大地震などによる被災を想定した応急給水訓練や復旧訓練を継続的にを行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	上下水道局防災訓練を平成30年7月に実施し、また、八千代市災害対応訓練を平成31年1月に実施しました。地震発生による浄水場の停電、断水、濁り水の発生を想定し、応急復旧及び応急給水訓練を実施しました。				
H30年度目標設定	—	目標値		実績値	
		—		—	

取組項目	関係機関・事業者との連携強化				
取組目的・内容	他の水道事業者や水道工事事業者と共同での訓練実施などにより、連携の強化を図ります。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	<p>災害時の対応の迅速化を図るため、県内事業者で締結している「千葉県水道災害相互応援協定」を平成30年11月に変更しました。また、より適切な応急復旧が行えるよう、八千代市管工事協同組合と締結している「災害時における復旧応援協定」を平成31年3月に見直しました。</p> <p>平成29年7月に実施した上下水道局防災訓練において、関係事業者と共同での訓練を実施しました。</p> <p>平成31年1月に実施した八千代市災害対応訓練では、浄・給水場の運転管理等委託の受託者と共同で訓練を実施しました。</p>				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	災害マニュアルの見直し・修正				
取組目的・内容	災害マニュアルなどを適宜見直し、修正を行っていきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	見直し・修正	見直し・修正	見直し・修正	見直し・修正	見直し・修正
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	災害マニュアルに基づき防災訓練を実施しました。平成30年度はマニュアルの修正等はありませんでしたが、今後も、訓練等の際に内容を確認し、必要に応じて見直しを行っていきます。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	不断水弁の設置 ※前期実施計画（平成 30 年度版）で追加				
取組目的・内容	災害時に送水管が破損した場合への対策として、不断水弁を設置し、給水能力の向上を図ります。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
実施状況			不断水弁の設置	不断水弁の設置	不断水弁の設置
H30 年度実施内容	大和田新田 446 番地先送水管不断水仕切弁 φ 800 設置工事を発注しました。				
H30 年度目標設定	—		目標値	実績値	
B 評価の理由	関係者との日程調整等に時間を要したため、令和元年度に工事を繰越しました。 このため、実施状況の評価を B としました。				

⑥井戸水の確保

取組項目	井戸施設の点検・管理				
取組目的・内容	災害時などにおいても安全で安心できる水道水を供給するために、自己水源である井戸水の保全を図ります。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
実施状況	A	A	A		
H30 年度実施内容	水道施設管理業務委託において日常点検を行い、不具合箇所について適時修繕を行いました。また、揚水機が故障した高津 2-2 号井戸について、修繕を行い、揚水を再開しました。 井戸水の水質検査については予定どおり実施し、水源として良質な水質であることを確認しました。				
H30 年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

第2章

公共下水道事業編

第1 業務量・財政収支

1 業務量の計画と実績

	計 画	実 績	増 減
行政区域人口(A)	198,552 人	198,965 人	413 人
整備区域内人口(B)	182,545 人	183,609 人	1,064 人
水洗化人口(C)	181,313 人	181,994 人	681 人
普及率(B/A)	91.9%	92.3%	0.4%
水洗化率(C/B)	99.3%	99.1%	△0.2%
年間総汚水処理量(D)	20,786,056 m ³	20,584,776 m ³	△201,280 m ³
年間総有収水量(E)	17,086,138 m ³	17,283,441 m ³	197,303 m ³
有収率(E/D)	82.2%	84.0%	1.8%

2 財政収支の計画と実績

①収益的収支

(単位:千円 消費税抜)

	計 画	実 績	増 減
収入(A)	3,320,280	3,309,493	△10,787
うち下水道使用料	2,169,389	2,195,645	26,256
支出(B)	3,246,346	3,167,353	△78,993
純利益/損失(A-B)	73,934	142,140	68,206

②資本的収支

(単位:千円 消費税込)

	計 画	実 績	増 減
収入(A)	2,132,153	1,594,036	△538,117
うち企業債	1,042,100	660,600	△381,500
うち国庫補助金	892,269	591,527	△300,742
支出(B)	2,880,394	2,240,342	△640,052
うち建設改良費	2,196,515	1,557,364	△639,151
資本的収支不足額(A-B)※	△748,241	△778,723	

※実績の値は、資本的収入(A)から、翌年度へ繰越される支出の財源充当額 132,417 千円を控除しています。

③企業債残高

(単位:千円)

	計 画	実 績	増 減
年度末企業債残高	8,751,705	8,135,607	△616,098

④資金残高

(単位:千円)

	計 画	実 績	増 減
年度末保有資金残高	994,323	1,237,278	242,955

※経営戦略前期実施計画 平成 30 年度版の計画との比較となります。

第2 前期実施計画 取組概要

1 取組項目の実施状況

平成30年度は、当該年度の取組項目に掲げていた全21項目のうち、18項目を計画どおり実施し、3項目を計画どおりではありませんが実施しました。

また、平成30年度の取組み計画としていなかった2項目について、実施しました。

(1) 取組項目一覧表

◆基本方針1 公共下水道事業の運営基盤の向上

取組・施策名, 取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①下水道施設の計画的・効率的な管理			
管路施設の調査 ※平成28年度に完了			
ストックマネジメント計画に基づく改築・修繕の実施	—	A	25
②定員管理の適正化			
定員管理の適正化	—	A	25
③民間資金・ノウハウの活用の検討			
委託の拡大等の検討	—	A	26
先進事例の調査・研究	—	A	26
④広域化の検討			
広域化事例の調査・研究	—	A	27
⑤適正な資金管理			
適正な内部留保資金の確保	有	A	27
期中における資金管理の徹底	—	A	28
⑥下水道使用料の検証・検討			
前年度決算に基づく水需要・料金収入・財務状況の確認・分析	—	A	28
上下水道事業運営審議会への報告	—	A	29
⑦災害復旧体制の強化			
災害時を想定とした訓練の実施	—	A	29
下水道BCPの運用	—	A	30

注)実施状況について

A：計画どおり実施した B：計画どおりではないが実施した C：実施できなかったもの

—：平成30年度における取組みがないもの ※：平成30年度における取組みはないが、実施したものの

◆基本方針2 汚水の適正な処理

取組・施策名, 取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①汚水施設の整備拡充			
吉橋工業地域内における汚水管渠整備	有	B	31
②汚水施設の維持管理			
管渠・マンホールポンプの維持管理	有	A	32
不明水対策	有	B	32
ポンプ場機械修繕	—	※	33
③水質規制の指導・監督			
特定事業場の立入調査	有	A	33
④未接続の解消			
未接続世帯への個別訪問	有	A	34

◆基本方針3 浸水対策の強化

取組・施策名, 取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①雨水施設の整備拡充			
八千代1号幹線浸水対策（調整池の整備）	—	B	34
八千代1号幹線浸水対策（管渠の整備）	—	※	35
上高野地区雨水排水整備工事	—	—	35
萱田南第1排水区雨水排水整備	—	—	35
大和田新田地区雨水排水整備	—	—	36
大和田地区雨水排水整備	—	—	36
花輪排水区雨水排水整備	—	A	36
②雨水施設の維持管理			
水路の浚渫作業	有	A	37
調整池の維持管理	有	A	37
③雨水流出抑制策の推進			
開発行為などによる民間事業における雨水の流出抑制	—	A	38

第3 前期実施計画 個別取組み状況

1 基本方針1 公共下水道事業の運営基盤の向上

①下水道施設の計画的・効率的な管理

取組項目	ストックマネジメント計画に基づく改築・修繕の実施				
取組目的・内容	<p>永続的に安定的なサービスを持続させるために、施設の現状を分析するとともに、今後、標準耐用年数 50 年を迎える下水道施設が増加してくることから、将来の更新需要を的確に把握し、長期的な視点から施設を管理していきます。施設の既存データの整理などにより、ストックマネジメント手法を踏まえた修繕・改築計画を策定し、それに基づき改築・更新などを行っていきます。</p>				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	既存資料の収集・調査	既存資料の収集・調査	ストックマネジメント計画の策定	ストックマネジメント計画の策定	実施設計委託の実施
実施状況	A	A	A		
H30 年度実施内容	本市下水道施設のストックマネジメントに係る実施方針を作成しました。令和元年度も引き続き計画策定作業を進めます。				
H30 年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

②定員管理の適正化

取組項目	定員管理の適正化				
取組目的・内容	<p>平成 18 年度に行った上下水道事業部門の組織統合以降、事務の効率化などにより、人員の削減を実施してきましたが、今後においても、市全体の定員管理計画に基づき、事務事業の見直し、民間委託の拡大や再任用職員の活用などによる定員管理の適正化を進めます。</p>				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	推進	推進	推進	推進	推進
実施状況	A	A	A		
H30 年度実施内容	再任用職員及び臨時的任用職員の活用をしながら、職員の適正配置を行いました。				
H30 年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

③民間資金・ノウハウの活用の検討

取組項目	委託の拡大等の検討				
取組目的・内容	民間委託などの手法の活用が可能である事務事業については、導入を検討し、事務の効率化や事業費の縮減を図り、安定的なサービスを継続します。また、類似する業務の集約化が可能か検討を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	対象業務の調査	仕様・発注方法の検討	仕様・発注方法の検討	委託業務の発注	仕様書についての見直し
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	管渠関連業務の包括的民間委託を実施している事業体の視察を行いました。また、管渠維持管理業務の一部をポンプ場施設維持管理業務に取り入れるため、平成29年度に作成した仕様書案や発注方法について、改めて検討を行いました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	先進事例の調査・研究				
取組目的・内容	官民連携手法の先進事例などの調査・研究を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	管渠関連業務の包括的民間委託を実施している事業体の視察を行うなど、官民連携導入事例の情報収集を行いました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

④広域化の検討

取組項目	広域化事例の調査・研究				
取組目的・内容	本市は、千葉県が管理する印旛沼流域下水道の終末処理場において、他の事業体と共同で汚水処理を行なっていますが、それ以外の事業統合については、具体的な検討に至っていません。しかしながら、他の事業体が進める事例を注視し、調査・研究を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	平成30年8月に千葉県汚水処理広域化・共同化検討会が設立され、県の主催する広域化・共同化計画の策定に向けた勉強会に参加しました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑤適正な資金管理

取組項目	適正な内部留保資金の確保				
取組目的・内容	平成27年度に行った下水道使用料の見直し（改定）により、経営状況は改善傾向を見込んでいますが、過去の赤字経営により資金が枯渇していることから、前期計画期間においては内部留保資金の確保を図ります。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	計画的・効率的な事業運営による資金の確保	計画的・効率的な事業運営による資金の確保	計画的・効率的な事業運営による資金の確保	計画的・効率的な事業運営による資金の確保	計画的・効率的な事業運営による資金の確保
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	施設の維持管理費及び整備費の減少により、内部留保資金残高は目標値を上回りました。				
H30年度目標設定	内部留保資金残高		目標値	実績値	
			994,323千円	1,237,278千円	

取組項目	期中における資金管理の徹底				
取組目的・内容	<p>期中の資金管理については、上下水道局内の情報共有などにより、事業の執行状況を把握し、資金管理を徹底し、定期預金の預入などによる利息の獲得と企業債の借入日の調整をすることによる支払利息の低減を図ります。</p>				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	<p>定期預金については、事業担当課との情報共有により資金の動きを詳細に分析し、資金の必要性を精査した上で、可能な限り剰余金を集中した長期の預入れを行いました。預入先の選定は、各金融機関から利率の見積を徴収し、経営の安全性が確認された中で最も高い利率を提示した金融機関としました。</p> <p>企業債の借入れに際しては、支払利息の縮減を図るため金利方式について検討を行い、その結果、金利変動リスクのない固定金利方式を選択しました。</p>				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

⑥下水道使用料の検証・検討

取組項目	前年度決算に基づく水需要・料金収入・財務状況確認・分析				
取組目的・内容	<p>平成27年度に行った下水道使用料の見直し（改定）後の収入状況や財務状況の検証を行います。</p>				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	<p>メータ検針等に基づく調定汚水量及び下水道使用料について、業態別の分析を行いました。また、前年度の決算状況等により財務状況の確認・分析を行いました。なお、平成29年度の使用料収入について、使用料改定により116,935千円の財政効果がありました。</p>				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	上下水道事業運営審議会への報告				
取組目的・内容	平成 27 年度に行った下水道使用料の見直し（改定）後の経営状況について、諮問機関である「上下水道事業運営審議会」へ報告を行い、適正な下水道使用料について検討していきます。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	経営状況の報告	経営状況の報告	経営状況の報告	経営状況の報告	経営状況の報告
実施状況	C	A	A		
H30 年度実施内容	平成 30 年度に開催した上下水道事業運営審議会において、平成 29 年度の決算状況を説明し、平成 27 年度に行った使用料改定による財政効果及び、平成 23 年度から平成 26 年度まで続いた赤字について、平成 27 年度以降は黒字となっていることを報告しました。				
H30 年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

⑦災害復旧体制の強化

取組項目	災害時を想定とした訓練の実施				
取組目的・内容	地震などにより被災した下水道施設の短期間での復旧を可能とするために制定する「下水道 BCP（業務継続計画）」に基づく防災訓練を実施し、復旧体制の強化を行います。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施
実施状況	A	A	A		
H30 年度実施内容	上下水道局防災訓練を平成 30 年 7 月に実施し、また、八千代市災害対応訓練を平成 31 年 1 月に実施しました。地震発生によるマンホールポンプの稼働停止、水管橋からの汚水の漏水の発生を想定し、初動対応及び応急復旧訓練を実施しました。 平成 31 年 1 月には、千葉県主催により下水道 B C P に基づいた連絡訓練を実施しました。				
H30 年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	下水道BCPの運用				
取組目的・内容	大規模な災害などで職員、庁舎、設備などに相当の被害を受けても、優先実施業務を中断させず、たとえ中断しても許容される時間内に復旧できるようにするため、「下水道BCP（業務継続計画）」を制定し、防災訓練などで判明した問題点について対策を検討したうえで、見直しを行っていきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	BCPの制定	内容の精査	内容の精査	内容の精査	内容の精査
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	上下水道局の防災訓練や八千代市災害対応訓練、千葉県主催の合同訓練の結果を基に、内容の確認を行いました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

2 基本方針2 汚水の適正な処理

①汚水施設の整備拡充

取組項目	吉橋工業地域内における汚水管渠整備				
取組目的・内容	<p>本市においても、近い将来に人口減少が見込まれているため、下水道の基盤整備と料金収入のバランスを考慮して、効率的・効果的な汚水処理施設の整備を図ります。</p> <p>事業計画に基づき、令和2年度まで吉橋工業地域内の汚水管渠の整備を行います。</p>				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事(完了予定)
実施状況	B	B	B		
H30年度実施内容	<p>吉橋処理分区において、以下のとおり汚水管渠築造工事を実施しました。</p> <p>【平成29年度からの繰越分】</p> <p>推進 φ200mm 延長 635.03m</p> <p>開削 φ200mm 延長 39.04m 計 674.07m</p> <p>【平成30年度分】</p> <p>推進 φ200mm 延長 60.00m</p> <p>開削 φ200mm 延長 483.37m 計 543.37m</p> <p>※このうち、495.50mの施工について令和元年度に繰越したため、平成30年度分の整備延長は47.87mとなります。なお、地元との調整により、当初計画と異なる路線を施工しています。</p>				
H30年度目標設定	汚水管渠の整備延長	目標値		実績値	
		599m		47.87m	
B評価の理由	<p>繰越しを生じさせないよう、発注作業を前年度より3か月早く進めていましたが、入札不調が続き発注が遅れたため、年度内の工事完成が困難となり、工事を繰越しました。</p> <p>このため、実施状況の評価をBとしました。</p>				

②汚水施設の維持管理

取組項目	管渠・マンホールポンプの維持管理				
取組目的・内容	管渠やマンホールポンプの定期的な点検・清掃を行い、機能の保全を図ります。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	<p>汚水管・マンホールポンプの点検清掃について以下のとおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚水管通常清掃：(昼間) 3,352.3m、(夜間) 11 作業 ・汚水管緊急清掃：(昼間) 15 作業、(夜間) 3 作業 ・マンホールポンプ：清掃 27 回、点検 1 回 				
H30年度目標設定	汚水管渠の清掃延長	目標値		実績値	
		3,200m		3,352.3m	

取組項目	不明水対策				
取組目的・内容	汚水管渠に地下水などが流入するいわゆる「不明水」を減らすため、区域ごとに順次カメラ調査を実施し、管渠の破損などが確認された場合は補修を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・不明水調査(北部処理分区) ・不明水対策関連補修(萱田町処理分区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・不明水調査(北部処理分区) ・不明水対策関連補修(萱田町処理分区・北部処理分区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・不明水調査(北部処理分区) ・不明水対策関連補修(萱田町処理分区・北部処理分区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・不明水調査(北部処理分区) ・不明水対策関連補修(北部処理分区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水流量調査(佐山処理分区) ・不明水対策関連補修(北部処理分区)
実施状況	B	B	B		
H30年度実施内容	<p>北部処理分区において、以下のとおり不明水対策に関する事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不明水調査(調査延長：1,698m、取付管調査：24 箇所) ・内面補修工事：55 箇所 				
H30年度目標設定	不明水調査延長	目標値		実績値	
		1,900m		1,698m	
B評価の理由	<p>不明水調査は、ブロックごとに調査を行っていますが、一部の汚水管において、同じ路線に違うブロックの汚水管が重なって入っている箇所があり、作業効率等を考慮した結果、翌年度の調査に含めることとし、目標値より実績値が少なくなりました。</p> <p>このため、実施状況の評価をBとしました。</p>				

取組項目	ポンプ場機械修繕				
取組目的・内容	老朽化する汚水中継ポンプ場の機械設備については、修繕計画に基づいて修繕を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	北部汚水中継ポンプ場汚水ポンプ分解修繕			村上第2汚水中継ポンプ場ポンプ分解修繕	
実施状況	A	※	※		
H30年度実施内容	<p>施設点検で異常が確認された箇所について、以下の修繕を実施しました。</p> <p>【村上第2汚水中継ポンプ場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高圧受電設備の修繕 ・細目除塵機の腐食箇所の修繕 <p>【北部汚水中継ポンプ場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細目除塵機の破損個所の修繕 ・自家発電機制御用設備の交換補修 <p>※平成30年度の実施計画はありませんでしたが、本計画に関わる業務を上記のとおり実施しました。</p>				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

③水質規制の指導・監督

取組項目	特定事業場の立入調査				
取組目的・内容	民間事業者などが新たに特定事業場を設置する場合の除害施設に関する指導や特定事業場の排水の水質について立入調査を行うことで、管渠内への有害物質や油類の流入を防止します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	特定事業場立入調査を延べ10回実施し、除害施設の適正な運転管理について3件の指導を行いました。				
H30年度目標設定	年間延べ立入調査回数		目標値	実績値	
			10回	10回	

④未接続の解消

取組項目	未接続世帯への個別訪問				
取組目的・内容	公共下水道が整備された区域内における未接続世帯が減少することにより、河川などの環境保全が図られ、下水道使用料の増収にもつながります。未接続世帯に対して、水洗化による環境保全の効果について理解していただくことにより、公共下水道への接続を促します。				
年度別 実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	訪問の実施	訪問の実施	訪問の実施	訪問の実施	訪問の実施
実施状況	A	A	A		
H30年度 実施内容	すべての未接続世帯に対し、訪問、現地調査、世帯状況調査等を実施しました。				
H30年度 目標設定	訪問件数		目標値	実績値	
			300件	590件	

3 基本方針3 浸水対策の強化

①雨水施設の整備拡充

取組項目	八千代1号幹線浸水対策（調整池の整備）				
取組目的・内容	平成25年に発生した台風26号による豪雨により、大きな被害をもたらされた八千代1号幹線沿線地域（大和田地区、八千代台北及び八千代台東地区の一部）の浸水対策のため、大和田南小学校の校庭の地下に調整池を整備します。				
年度別 実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	実施設計	整備工事	整備工事		
実施状況	A	A	B		
H30年度 実施内容	平成29年度から引き続き、八千代1号幹線浸水対策調整池築造工事を実施しました。				
H30年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	
B評価の理由	当初は平成29・30年度の2か年で工事を実施する計画でしたが、地下水の湧出への対策に時間を要したため、平成30年度内の完了が困難となり、令和元年度までの3か年の継続事業としました。 このため、実施状況をB評価としました。				

取組項目	八千代1号幹線浸水対策（管渠の整備）				
取組目的・内容	平成25年に発生した台風26号による豪雨により、大きな被害がもたらされた八千代1号幹線沿線地域（大和田地区、八千代台北及び八千代台東地区の一部）の浸水対策のため、新たに管渠を整備します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
		実施設計		整備工事	整備工事
実施状況	※	B	※		
H30年度実施内容	平成29年度から繰越した八千代1号幹線浸水対策（管渠布設）実施設計について、業務を完了しました。 ※平成30年度の実施計画はありませんでしたが、本計画に関わる業務を上記のとおり実施しました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	上高野地区雨水排水整備工事				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所（上高野1196番地先）について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	実施設計			整備工事	整備工事
実施状況	B	※	—		
H30年度実施内容	平成30年度実施計画なし				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	萱田南第1排水区雨水排水整備				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所（大和田第3公園北）について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
				実施設計	
実施状況	—	—	—		
H30年度実施内容	平成30年度実施計画なし				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	大和田新田地区雨水排水整備				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所（消防本部前）について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
実施状況	—	—	—	実施設計	
H30年度実施内容	平成30年度実施計画なし				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	大和田地区雨水排水整備				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所（県道大和田停車場線）について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
実施状況	—	—	—	実施設計	
H30年度実施内容	平成30年度実施計画なし				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	花輪排水区雨水排水整備 ※前期実施計画平成30年度版で追加				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所（大和田新田930番地先）について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
実施状況			実施設計		整備工事
H30年度実施内容	花輪排水区において、雨水管渠を整備するための実施設計を行いました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

②雨水施設の維持管理

取組項目	水路の浚渫作業				
取組目的・内容	水路の浚渫作業を行い施設を適切に管理することで、大雨による浸水被害などを軽減します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	八千代1号幹線の浚渫	高津団地内排水路の浚渫	八千代1号幹線の浚渫	高津団地内排水路の浚渫	八千代1号幹線の浚渫
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	八千代1号幹線の浚渫作業を1回実施しました。				
H30年度目標設定	浚渫作業回数	目標値		実績値	
		1回		1回	

取組項目	調整池の維持管理				
取組目的・内容	調整池放流口付近の清掃や調整池内の除草作業を実施し、施設を健全に保ちます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	<p>以下のとおり調整池の維持管理を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託業者による調整池の清掃：1回 ・委託業者による調整池内の除草：1回 (草の繁茂状況を考慮し1回の実施としました。) ・職員による点検、除草作業：36回/年 				
H30年度目標設定	調整池の点検・清掃回数	目標値		実績値	
		36回/年		36回/年	
	調整池の除草作業回数	目標値		実績値	
		2回/年		1回/年	

③雨水流出抑制策の推進

取組項目	開発行為などによる民間事業における雨水の流出抑制				
取組目的・内容	<p>近年、局所的な集中豪雨や急速に進む都市化の進展に伴い、雨水排水施設の能力を上回る降雨による内水被害が発生しています。</p> <p>これらの負担を軽減し、内水被害を減少させるため、開発行為などによる民間事業において「八千代市雨水排水施設整備指導指針」に基づく協議・指導を行い、雨水の流出抑制を図っていきます。</p>				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施
実施状況	A	A	A		
H30年度実施内容	開発事業事前協議において「八千代市雨水排水施設整備指導指針」に基づき、下水道計画における雨水排水施設の能力を超える事業地からの雨水流出について、雨水流出抑制施設の設置を行うよう協議・指導を行いました。				
H30年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

**八千代市上下水道事業経営戦略
前期実施計画
平成30年度取組状況**

発行日	令和元年9月
発行	八千代市上下水道局
編集	八千代市上下水道局 経営企画課
所在地	八千代市萱田町596-5
電話	047-483-6572 (直通)
FAX	047-483-6111